

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
448 コンベンション推進事業（各種学会、大会の誘致活動）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	2	観光客の誘致
取組方針	3	多様な誘致活動の展開

事業種別	継続	
事業期間	H16 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	澤本 博行 (435-1234)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	商工費		
	項	観光費		
	目	観光振興費		
	大事業	観光振興事業		
事項	コンベンション推進事業			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か） コンベンションへの参加者の宿泊増加を図り、観光リピーターの創出を図る。	事業内容 「学会」「会議」「各種の大会」「見本市」等の催しに参加し、和歌山市の宿泊施設に宿泊する参加者の延べ人数が51人以上のコンベンションの主催者に対し補助する。限度額1,000千円。和歌山市、和歌山市観光協会ホームページにてPRするとともに、観光情報発信事業で掲出するポスター等にも掲載している。ポスター配布先は観光情報発信事業と同じです。				
	実施内容	平成26年度 和歌山市の宿泊施設に宿泊する参加者の人数が51人以上のコンベンションの主催者に対して補助する。 ○誘致件数=50 ○参加者数=26,079 ○宿泊者数=18,873	平成27年度 和歌山市の宿泊施設に宿泊する参加者の人数が51人以上のコンベンションの主催者に対して補助する。	平成28年度 和歌山市の宿泊施設に宿泊する参加者の人数が51人以上のコンベンションの主催者に対して補助する。	平成29年度 和歌山市の宿泊施設に宿泊する参加者の人数が51人以上のコンベンションの主催者に対して補助する。	平成30年度 和歌山市の宿泊施設に宿泊する参加者の人数が51人以上のコンベンションの主催者に対して補助する。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	23,418	19,845	22,702	15,350	19,756	23,136	19,621		28,758	
伸び率 (%)	-	-	▲3.1%	▲22.7%	▲13.0%	50.7%	▲0.7%	▲100.0%	46.6%	-
人件費	正規職員	6,629	6,483	6,483	10,464	6,483	7,677	6,532	6,532	
	正規職員以外	0	0		417		0			
小計	6,629	6,483	6,483	10,881	6,483	7,677	6,532		6,532	
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他										
一般財源（税等）	23,418	19,845	22,702	15,350	19,756	23,136	19,621		28,758	
所要人数（人）	正規職員	0.87	0.87	0.87	1.38	0.87	0.97	0.82	0.82	
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.19	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	全国大会誘致和歌山市議会議員連盟交付金 1,000千円 和歌山市コンベンション事業推進補助金 18,399千円									

3 目標及び実績

指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	達成度 (%)	目標値	実績値
活動指標	大会開催回数		35	50	62	71	80
			50	43	66		
			142.9%	86.0%	106.5%		
成果指標	宿泊者数	人	13,000	20,000	24,800	24,800	24,800
			18,864	13,003	20,517		
			145.1%	65.0%	82.7%		
	大会参加者数	人	25,000	30,000	37,200	37,200	37,200
			26,114	21,225	26,609		
			104.5%	70.8%	71.5%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実	/			
	現状維持	/		○	/
	縮小	/		/	/
	廃止	/		/	/
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市でコンベンションを開催しようとする者を支援することにより、市内での宿泊者の増加に寄与している。宿泊事業者から一層の補助金拡充を求める声もあることから、民間事業者にとっても効果を実感できる有効な補助金といえる。
見直し・改善内容	補助金の内容や周知方法を検討していく。